

3 類型	鉱工業品	通巻番号	5-24-011
地域資源名	ニット	認定日	平成25年2月4日
地 域	和歌山県橋本市	所管省庁	経済産業省

事業名：フィラメントを使ったループパイル生地による生活雑貨品等の企画開発・製造・販売

会社名：原田織物株式会社
 連絡先：TEL：0736-42-3509
 FAX：0736-42-0400

所在地：和歌山県橋本市高野口町名古屋821
 HP：http://www.harada-orimono.co.jp

事業概要（新たな活用の視点）

本事業では、フィラメント（※1）の編み糸で両面ループパイル生地（※2）を編み立て、多種多様な生活雑貨や産業用品を企画開発、製造、販売する。

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

- ・本事業で製造するパイル生地は、ダブルトリコット機（※3）を当社の独自技術を基に改造したことでフィラメントの使用を可能にし、実現したものである。
- ・ループパイルにフィラメントを使用しているため毛羽が発生しない。

- ・パイルを引っ張っても抜けにくい構造になっている。
- ・多種の編み素材が使用可能になったことで、用途にあった素材を選択し、満足度の高い商品を提供できる。
- ・さらに両面のパイルに異素材を使うことで、裏表に異なる特性（表は通常のハンカチーフ、裏はあぶら取り等）を持たせることができる。

- ・両面異素材の生地が一枚の生地で作成できるため、縫い合わせ工程を省略でき、低コスト化を実現している。

◆市場性

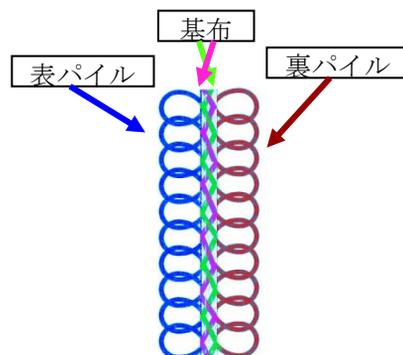
ハンカチーフ等のボディケア用品市場は、製造品出荷額9,000百万円程の安定した市場である。またクリーニングクロス等のクリーナー系用品市場は家庭用・業務用とも安定した需要が見込める。

◆販路

雑貨専門店への直販ルートやWebによる直接販売等を強化する。クリーナー系商品については、製造業や外食産業向け卸問屋等への展開でも販路拡大を図る。

地域資源における関係事業者との連携

原糸の燃糸や生地の染色等については、地域内の加工業者と連携して行う。また、製品評価については、兵庫県立工業技術センターの支援を受ける。



【両面ループパイルのイメージ】



【パイル生地の表面】

※1 フィラメント

化学繊維や合成繊維などの、細い繊維の最初から最後まで連続した糸。天然繊維では絹がこれにあたる。長繊維。

※2 パイル生地

タオル生地に代表される、生地の表面がループや毛羽に覆われているもの。柔らかな風合いや吸水性が特徴。

※3 ダブルトリコット機

編み機の一つで、編み針が2列になっている。多種の生地を作ることができパイルが抜けにくいという長所を持つ。当社はこれを改造し長繊維のループパイル生地の生産を可能にした。